

H23.11.29 設楽ダム猛禽類検討会 議事概要

○日 時：平成23年11月29日（火） 14時00分～16時00分

○議事概要：

表 H23.11.29 設楽ダム猛禽類検討会の議事概要

| 議事項目                      | 議事内容                              | 報告事項   | 委員の主な意見  | 意見に対する回答   |
|---------------------------|-----------------------------------|--|--|--|
| 1.猛禽類検討会の検討経緯について         | ・猛禽類検討会の経緯、前回検討会での指摘と対応について報告した。  |  | ・特になし  |  |
| 2.平成23年繁殖シーズンの調査結果について    | ・クマタカ、オオタカ、ハチクマ、サシバの調査結果について報告した。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3ペアすべてにおいて平成22年生まれ幼鳥が7月まで営巣地周辺で確認され、平成23年繁殖シーズンは新たに繁殖しなかったと考えられる。</li> <li>・3ペアについて幼鳥の行動範囲の把握を行った。</li> <li>・オオタカについては、雌個体が確認されず、6月調査までで調査を打ち切った。</li> </ul>     | ・Cペアの飛翔軌跡がダムサイト本体の方へ延びてきている。これからも同様の傾向が続くならば、コアエリア等を再検討すること。             | ・事務局：次年度以降の調査結果に留意する。  |
|                           |                                   |  | ・ダムサイト周辺の植生はどうなっているか。  | ・事務局：周辺と特に変化がなく、概ねスギ・ヒノキ植林で覆われている。                           |
|                           |                                   |  | ・BペアとCペアのコアエリアは近接しているが、AペアとBペアはある程度離れている。コアエリアを分けている基準は飛翔軌跡以外に何かあるのだろうか。 | ・事務局：AペアとBペアの間には国道があり、交通量も多いため、結果としてコアエリアとして使用していないものと考えられる。 |
| 3.平成23年度のモニタリング結果の評価について  | ・平成23年度のモニタリング結果の評価について報告した。      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年度工事は、各ペアの行動圏外で実施されており、かつ、クマタカの繁殖期には主な工事が終了していたことから、工事の影響は無かったものと想定される。</li> <li>・平成23、24年度工事については、現時点では予定されていない。</li> <li>・事後調査のとりまとめについて説明を行った。</li> </ul> | ・特になし  |  |
| 4.平成24年繁殖シーズンの調査計画(案)について | ・平成24年繁殖シーズンの調査計画(案)について説明した。     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・原則的に平成23年繁殖シーズンと同様の調査計画(案)について報告を行った。</li> <li>・CCDカメラについては、平成24年繁殖シーズン内に設置している営巣木を利用しなかった場合は、移動及び撤去を再検討する。</li> </ul>   | ・ハチクマの繁殖の正否を確認するためには、8月の調査も必要ではないか。                                      | ・事務局：ハチクマの動向に留意し、適宜対応する。                                     |
|                           |                                   |  | ・カメラの画像から餌動物が何であったかや巣における音響の伝わり方等の解析が可能であり、得られる情報は多いのではないか。              | ・事務局：既存のものではなく、無線やより安価なカメラを利用した新規の設置を含め、今後詳細に検討する。           |